

医療福祉相談室

上席医療社会事業士 渡邊 純子

1. 部門の紹介・概要

医療ソーシャルワーカーは倫理綱領・業務指針（厚生労働省）に基づいて支援を行う社会福祉の専門職です。主な業務内容は以下6つです。①療養中の心理的社会的問題の解決・調整援助、②退院援助、③社会復帰援助、④受診受療援助、⑤経済的問題の解決・調整援助、⑥地域活動
職員数：医療社会事業士5名（保有資格：社会福祉士、精神保健福祉士）

2. 令和6年度の病院事業運営方針に基づく部門の取組目標

- 患者支援センター、がん相談支援センター機能の充実と強化
(主体性を尊重した相談支援、多職種連携、福祉行政・児相等との連携強化)
- コスト意識を持った業務実践・改善の推進
(業務簡素化・効率化、収益確保、業務応援/大東病院)
- Work Life Balance 実現・働きやすい職場環境
(5S、スキル up、計画的休暇取得)

3. 令和6年度業務実績

(1) 医療相談

- ケース取扱状況（単位：件）

区分	新規受理	実件数	延べ件数	一般相談
令和5年度	1,004	2,796	5,915	2,413
令和6年度	1,007	3,402	5,587	2,189

- 援助の方法（単位：件）

区分	面接	訪問	電話	文書	カンファレンス	合計
令和5年度	10,914	28	4,556	118	170	15,786
令和6年度	10,491	6	4,161	81	202	14,941

- 援助の問題（単位：件）

区分	経済		福祉制度	医療保健	環境				退院・社会復帰等	その他	合計
	医療費	生活費			心理適応	院内付添い	家庭内	職場学校			
令和5年度	194	90	1,908	2,259	228	17	363	29	3,496	162	8,746
令和6年度	193	37	1,417	2,276	220	11	361	41	3,405	94	8,055

- 退院支援共同カンファレンス：延べ5,395件

(2) 患者支援センター窓口（患者サポート体制充実加算）：医療社会事業士、看護師で対応

- ・令和6年度患者支援相談窓口対応状況：延べ3,907件
- ・医療相談カンファレンス（毎週水曜日開催）：年52回

(3) がん相談支援センター（地域がん診療連携拠点病院指定要件）

治療や療養生活に関する心配や困りごとなどについて、一緒に考え、情報を探すお手伝い

- ・令和6年度がん相談対応状況：延べ件数932件
- ・がん情報コーナー整備（パンフレット等配架）
- ・岩手県がん診療連携協議会情報提供・相談支援部会議およびワーキング活動
- ・岩手緩和テレカンファレンス

(4) 地域活動等

- ・岩手県立大東病院業務応援（毎週月曜）
- ・岩手県立遠野病院業務応援（9月）
- ・岩手県立千厩病院業務応援（10月）
- ・岩手県立南光病院認知症疾患医療センター地域連携会議
- ・岩手県医療局「子育て支援セミナー」体験談講師
- ・岩手県医療局高校生向け「病院のお仕事紹介セミナー」講師
- ・岩手県立一関高等看護学院「社会福祉」講師
- ・地域母子保健連携会議（一関市・平泉町・奥州市・金ケ崎町、栗原市）
- ・岩手産業保健支援センターと協働/両立支援出張相談窓口開設（毎月第3月曜）
- ・東北がんネットワークがん患者相談室専門委員会
- ・岩手県立大学ソーシャルワーク実習指導
- ・名寄市立大学ソーシャルワーク見学/学習対応
- ・どこでも医療講座/講師
- ・連携施設等訪問
- ・IZAK 定例会議
- ・チーム医療：認知症ケア、緩和ケア、養育支援

(5) その他

- ・東北厚生局適時調査
- ・第8回岩手県立病院総合学会（第20回岩手県立病院医療ソーシャルワーク学会）
- ・働きやすい職場環境づくり
5S活動、月イチ年次休暇取得、キャリアラダーを用いたスーパービジョン（対話型業務点検）、南光病院ソーシャルワーカーとの交流活動等に取り組みました。

薬 剤 科

薬剤科長 尾形 由紀

1. 概要

スタッフ

薬剤師 16 名、薬剤助手 4 名、時間制薬剤助手 1 名

認定薬剤師

がん薬物療法認定薬剤師 1 名、緩和薬物療法認定薬剤師 1 名、感染抑制認定薬剤師 1 名、心不全療養指導士 1 名

業務内容

外来・入院調剤、注射薬払い出し、がん化学療法支援業務（抗癌剤調製、レジメン監査、患者説明）、薬剤師外来、入退院支援、病棟薬剤業務、薬剤管理指導業務、医薬品情報提供、薬事委員会事務局、治験事務局、製造販売後調査事務局、院内医薬品の管理、薬品事務、薬学部 5 年生の実務実習指導、看護学院講師（生化学・薬理学）、チーム医療への参加（医療安全、ICT、AST、NST、緩和チーム）等

2. 取り組み状況

- ① 薬剤管理指導業務：年間の薬剤管理指導算定件数は 7,505 件で昨年度の 1.3 倍、退院時指導件数も 3,117 件で昨年度の 1.3 倍（表 1）で、これはどちらも県立病院の中で薬剤師一人あたりの算定件数トップの成績となっています。
- ② 薬品の効率的使用については、後発薬品への切替促進を行い、後発薬品の使用数量割合が購入数量で 96.5%（昨年度比 2.5%↑）となっています。今年度は院外処方箋の発行推進にも取り組み、下半期だけで薬品費を 8 千万縮減することができました。また、不要不急薬品の整理、院内にある定数薬の見直し、期限切迫薬品の情報提供等により、薬品減耗費も昨年度の 50%に抑えることができました。
- ③ 薬学生長期実務実習はⅡ期（5/20～8/4）1 名、Ⅲ期（8/19～11/3）3 名、Ⅳ期（11/18～2/9）2 名を受入れ、将来において岩手県立病院で活躍できる人材育成を目標に指導しています。
- ④ 抗菌薬適正使用チーム（AST）の一員として抗菌薬適正使用および AMR 対策の推進を行っています。
- ⑤ 入院処方疑義照会不要プロトコルの項目を増やしその介入回数は 932 回となり、タスクシフトによる医師の業務負担軽減に貢献することができました。
- ⑥ 薬剤師外来では、外来がん化学療法患者を対象とした副作用対策支援プロトコルによる処方オーダー代行に加えて、今年度から診療報酬に新しく追加された「がん薬物療法体制充実加算」算定にも取り組み、医師の診察前に面談を行い情報提供することで医師の業務負担軽減に寄与することができました。
- ⑦ 多職種間の共同等によるチーム医療の推進において、入退院支援部門にも薬剤師を配置し、持参薬鑑別や休薬説明を行っています。（表 2）

表1 薬剤管理指導件数 年度比較 (R5VSR6)

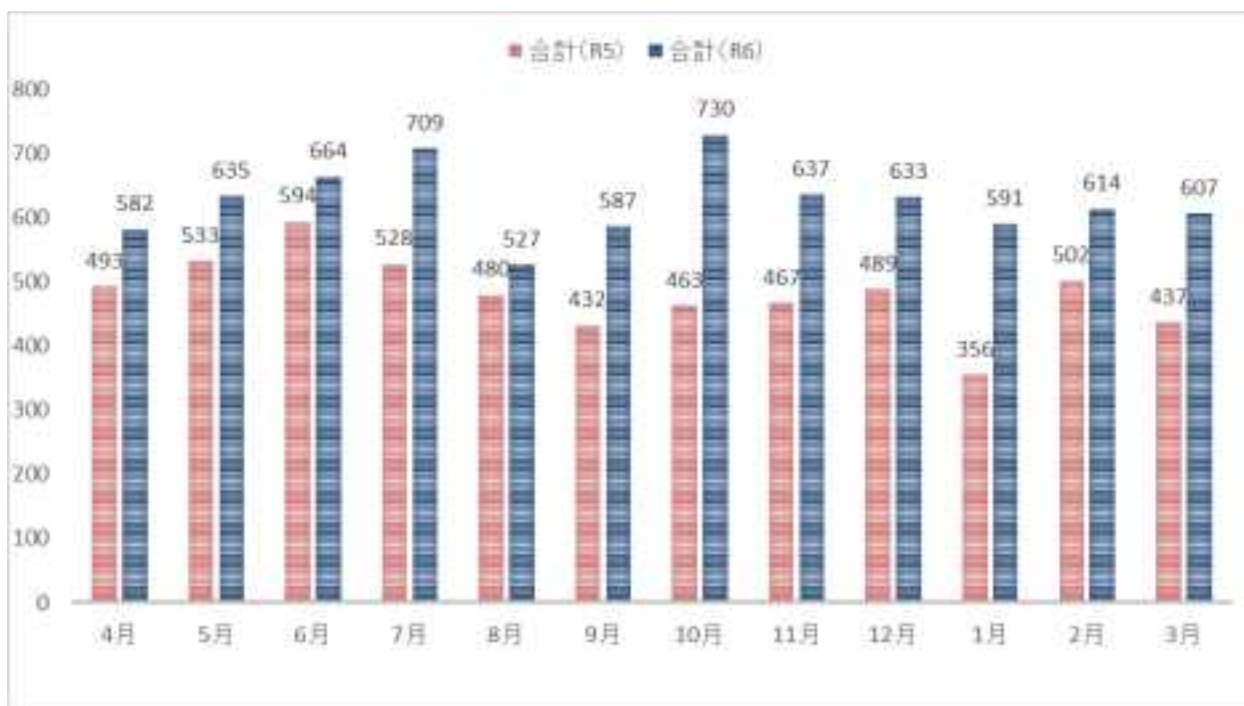


表2

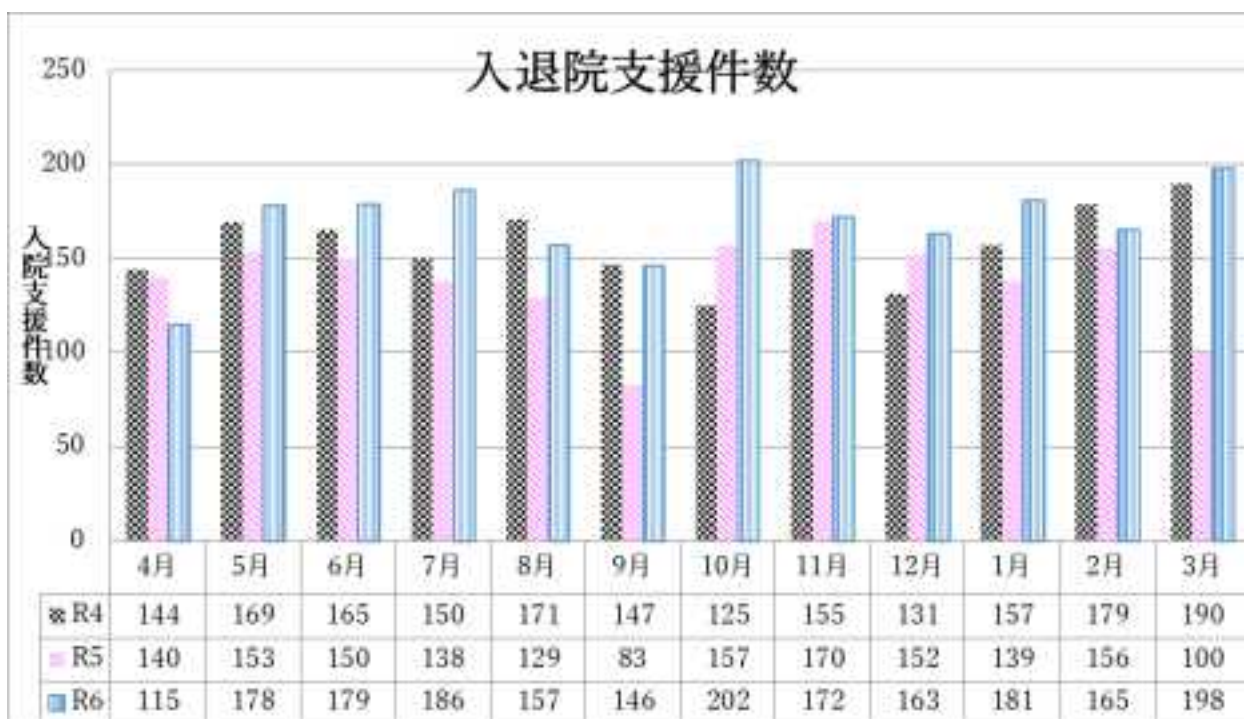


表3 令和6年度 薬剤業務実績

			合計	平均(月)
調剤実績	処方箋枚数	入院枚数	36,791	3,066
		外来枚数	6,301	525
		合計	43,092	3,591
	調剤数	入院調剤数	54,896	4,575
		外来調剤数	18,557	1,546
		合計	73,453	6,121
院外処方箋発行		枚数	52,725	4,394
		(発行率%)	89.3%	
外来腫瘍化学療法診療料(イ※ 700点)		件数	419	35
外来腫瘍化学療法診療料(イ 800点)		件数	2,001	167
外来腫瘍化学療法診療料(ロ※ 400点)		件数	184	15
外来腫瘍化学療法診療料(ロ 350点)		件数	821	68
連携充実加算(150点)		件数	1,511	126
がん薬物療法体制充実加算(100点/月)		件数	439	37
バイオ後続品導入初期加算(150点)		件数	137	11
無菌製剤処理料(イ)(180点)		件数	2,993	249
術後疼痛管理チーム加算(100点)		件数	1,255	105
がん患者指導管理料ハ(200点)		件数	141	12
入院時支援加算(※230点)		件数	187	16
入院時支援加算(240点)		件数	861	72
薬剤管理指導	安全管理が必要な医薬品(380点)	件数	2,835	236
	上記以外(325点)	件数	4,672	389
	麻薬加算(50点)	件数	188	16
退院時薬剤情報管理指導料(90点)		件数	3,120	260
退院時薬剤情報連携加算(60点)		件数	39	3
薬剤総合評価調整加算(100点)		件数	58	5
薬剤調整加算(150点)		件数	7	0.6
病棟薬剤業務実施加算(120点)		件数	1,472	123
薬剤情報提供(※10点)		件数	1,098	92
薬剤情報提供(4点)		件数	4,141	345
薬品鑑別件数		件数	5,828	448
薬品再調剤件数		件数	646	48

放射線技術科

診療放射線技師長 小岩 洋一

1. 部門の紹介・概要

放射線技術科は、診療放射線技師 16 名（うち、女性 6 名）、時間制技師 1 名、補助員 1 名で構成、画像診断科と放射線治療科の医師や看護師と連携して、より安全で精度の高い診療画像の提供と高精度な放射線治療照射の提供を行っています。

主な保有機器は、一般撮影装置（3 室）、CT 装置（2 室）、MRI 装置、血管撮影装置、SPECT 装置、高エネルギー放射線治療装置、X線透視装置（3 台）、乳房撮影装置、骨密度測定装置、回診用 X線装置（3 台）などで、放射線情報システムや医用画像保管システムなどと共に院内医療情報システムと LAN 接続したデジタルシステムを運用しています。

診療放射線技師は、画像診断分野では、各診療科の高度なニーズに応えるべく、冠動脈 CT や大腸 CT、心臓 MRI、乳房 MRI などの先進的検査への対応、三次元処理による診療支援画像の構築や解析処理、診断参考レベルによる医療被ばく低減の推進、救急医療における STAT 報告・異常所見報告等に取り組みながら、各種学会や研修会等にも積極的に参加し、技術の向上に努めています。放射線治療分野では、地域がん診療連携拠点病院として最新鋭のリニアックを導入して強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療（SRT）の精度管理・品質管理を行いながら、専門スタッフと連携して患者さんと家族の気持ちに寄り添い安心・安全な高精度放射線治療を行っています。

2. 主な取り組み

（1）両磐地区の県立病院間の業務連携を継続

相互応援による業務交流は、千厩病院 11 回、大東病院 11 回実施し、圏域内の一体的運営に寄与しています。当院への業務支援として、千厩病院から 33 回、大東病院から 8 回の派遣を受けました。花泉地域診療センターには、当院から応援派遣を 21 回実施しました。

（2）中央病院との医学物理士業務の相互支援を開始

高精度放射線治療計画に係る放射線治療専門医の業務負担を軽減し、品質管理の技術向上を目的に、医学物理士の相互支援を行いました。中央病院からの派遣を 40 回受け、中央病院へは 43 回派遣しました。全県立病院で医学物理士の資格を保持しているのが 5 人と少ないこと、また医学物理士業務の標準化や品質管理の技術共有に有効であることから、次年度も県立病院間での業務支援を継続します。

（3）タスクシェア

① 静脈路確保

診療放射線技師法の一部改正（令和 3 年 10 月）により、診療放射線技師の新たな業務に造影剤を使用した検査や RI 検査のために静脈路を確保する行為等が含まれました。それに対応するため、厚生労働省告示研修受講、当院看護職員技術研修（静脈注射）受講、当院放射線技術科静脈注射マニュアルの作成等の準備を進め、今年度 12 月から 3 月まで

を試行期間としMRI、RI 被験者約 60 名に対して、看護師の立ち会いの下、静脈路確保を実施しました。今年度はMRI、RI 検査に限定し、かつ専任者 2 名での施行でしたが、来年度はCT 検査も対象にするとともに専任者の育成・増員を進め、タスクシェアに向けた取り組みを継続します。

② 異常所見報告

これまでも行なっていた異常所見報告ですが、医師の働き方改革が進み、タスクシフト・シェアが注目されている中、診療放射線技師による異常所見報告に大きな期待が寄せられています。当科では定期的科内勉強会の開催、報告数の目標値設定、報告内容の有効度検証等に取り組み、医師の働き方改革、医療の質の向上に寄与できるよう研鑽に努めました。

今年度実績 352 件 (昨年度実績 256 件)

(4) 脳神経外科集約による脳血管内治療の開始

岩手県は脳卒中死亡率が大変高く、いち早く専門的な治療が受けられる施設が県民から求められています。今年度、胆沢病院脳神経外科を当院脳神経外科に集約し、磐井病院は両磐地域と胆江地域における高度・専門的な脳卒中治療を担う基幹病院として位置づけられ、また昨年度末には血管撮影装置が更新となっていますので、高度脳血管内治療を行う体制が整いました。今年度の実績は、未破裂動脈瘤に対する脳血管内治療 2 例、脳血管内治療後のフォローアップ検査 19 例でした。今後も急性期 IVR 治療の強化・発展が期待されます。

3. 業務実績 (令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)

分野	主な項目	実績	前年度差 (増減)
画像診断	一般撮影	24,410 人	1,262 人
	回診撮影	7,054 人	▲540 人
	乳房撮影	867 人	76 人
	CT 検査	16,078 人	468 人
	MRI 検査	3,989 人	70 人
	核医学検査	352 人	▲1 人
	血管撮影検査	210 人	▲24 人
	骨塩定量検査	783 人	37 人
放射線治療	延べ照射件数	3,475 件	▲1,069 件
	うち、IMRT/SRT	1,155 件	▲521 件
	新患者	156 人	▲19 人
	うち、IMRT/SRT	47 人	▲6 人
	治療計画	277 件	7 件
	うち、IMRT/SRT	65 件	8 件

臨床検査技術科

臨床検査技師長 後藤 明美

理念：安定した経営基盤の確立を図り、県民に良質な医療を持続的に提供していきます
病院機能に見合った患者視点での検査室運営と働きやすい職場環境づくりを目指します

1. 部門の紹介・概要

臨床検査技術科は検体検査、細菌検査、病理検査、生理検査から成り立っており、迅速で正確な検査結果報告、リスクマネジメントと精度管理、コスト意識を持った検査室運営を目標とし、地域医療へ貢献しております。

岩手県両磐医療圏域の基幹病院として、花泉地域診療センターや大東病院の業務応援を行い、千厩病院や大東病院の特定検査項目の受託検査に対応しております。また、併設する精神科単科の南光病院から臨床検査業務の全面委託を受けており、精神科領域の臨床検査も担っております。

専門医療に不可欠な臨床検査データを、正確かつ迅速に提供するには専門性の高い技師の育成が重要であり、各種認定技師の取得を積極的に進めております。取得した資格を活用しチーム医療に積極的に参加しております。

(1) 職員数 23名：臨床検査技師 22名、事務補助 1名

(2) 業務内容

検体検査：尿一般検査

全自動尿分析装置 US-3500

全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000

血液検査

血球計数装置/血液塗抹標本作成装置 UniCel DxH800

血液凝固自動分析装置 CP3000、CP2000

生化学・免疫検査

臨床化学自動分析装置 AU-5800、AU-680

全自動電気化学発光免疫測定装置 cobas pro

輸血検査

全自動輸血検査システム ORTHO VISION

細菌検査：一般細菌検査、抗酸菌検査、遺伝子検査

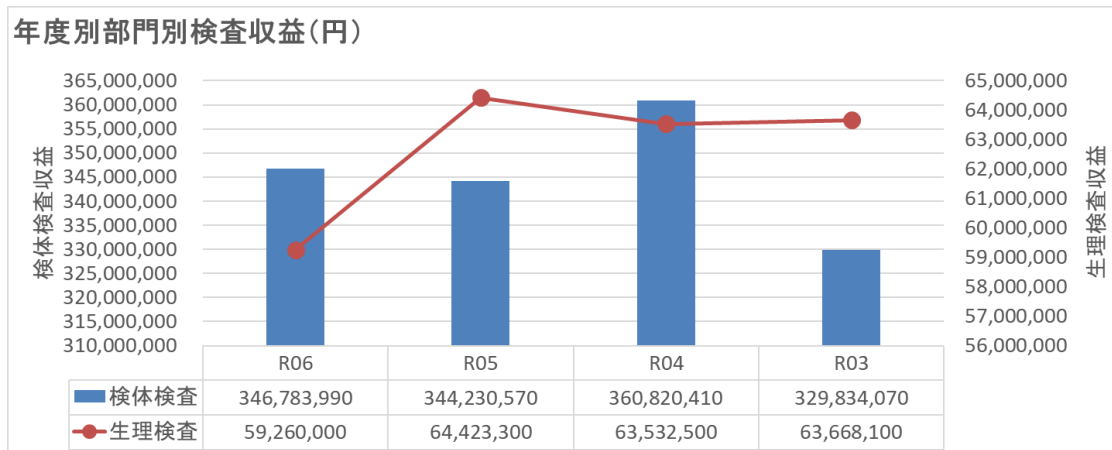
病理検査：組織診、術中迅速病理診断、病理解剖

生理検査：心電図検査、ホルター心電図検査、トレッドミル検査、ABI 検査、肺機能検査、脳波検査、終夜睡眠ポリグラフィ検査、SPP 検査、超音波検査、聴力検査、嗅覚検査、重心動揺検査など

(3) 外部精度管理調査参加

日本臨床衛生検査技師会、日本医師会、岩手県臨床衛生検査技師会、岩手県医師会
各メーカー主催

2. 臨床検査業務状況



3. 各種認定・専門資格取得者

医療局強化取得資格

日本超音波検査学会	超音波検査士	循環器領域	5
		消化器領域	3
		血管領域	2
		体表面領域	1
		泌尿器領域	1
日本輸血・細胞治療学会	認定輸血臨床検査技師		1
厚生労働省	検体採取に係る指定講習会		14
	タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会		13

推奨資格

日本臨床衛生検査技師会	認定病理検査技師		1
日本栄養治療学会	NST専門療法指導士		1
いわて糖尿病療養指導士会	いわて糖尿病療養指導士		2

法的配置

労働安全衛生法	特定化学物質および四アルキル鉛等作業主任者		4
厚生労働省	ゆうパック包装責任者研修受講		12
日本臨床衛生検査技師会	精度管理責任者育成講習会 修了		4

病院機能

日本乳がん検診精度管理中央機構	乳房超音波評価A		2
日本乳がん検診精度管理中央機構	乳房超音波評価B		2
4学会構成血管診療技師認定機構	血管診療技師		1
日本臨床衛生検査技師会	臨地実習指導者(臨地実習指導講習会修了者)		2
一般社団法人日本病院管理機構	医療安全管理者		1

希望資格

日本臨床工学技士会	臨床工学技士		1
日本心血管インターベンション治療学会	学会インターベンション専門技師		1
日本不整脈心電学会	心電図検定2級		2
	認定心電検査技師		1
日本臨床検査同学院	二級臨床検査士(病理)		1
厚生労働省	一般毒物劇物取扱者		1
	有機溶剤作業主任者		2
公益社団法人日本臨床腫瘍学会	がんゲノム医療コーディネーター研修会 受講		2
仙台市防災安全協会	自衛消防業務新規講習修了		1

臨床工学技術科

主査臨床工学技士 高橋 紀美香

1. 部門の紹介・概要

臨床工学技術科は 2003 年度、医療機器の効率的な運用および安全管理を目的に開設され、医療機器の中央管理業務を主に行っております。現在は臨床工学技士 6 名体制となり医療機器管理業務に加え生命維持管理装置に関する専門的知識・技術を基盤とする様々な臨床技術提供を行っています。

当科は院内の業務だけでなく両磐圏域の病院への業務応援も行っており、大東病院へは月 1 回、花泉診療センターへは不定期になりますが年 2 回の業務応援を行い、医療機器保守点検や医療機器取り扱い研修会を開催し、両磐圏域の医療安全確保に努めております。また 2014 年度より千厩病院の臨床工学技士 1 名を磐井病院所属に集約し、磐井病院から 1 名が兼務業務として千厩病院で勤務することで円滑に千厩病院へ業務応援できるような体制を構築しています。

医師の働き方改革の議論に基づく臨床工学技士法の一部改正等により、臨床工学技士の業務範囲が追加され、厚生労働大臣指定による研修（告示研修）を全員が受講し修得しております。今年度より一部の鏡視下手術における内視鏡用ビデオカメラ保持・操作業務に携わることができました。

2. 業務実績

[スタッフ]

高橋紀美香 / 菊地美代子 / 三浦雅映 / 齊藤郁 / 水谷美緒 / 柴田真衣

[勤務形態]

磐井病院 5 名 勤務：月～土 夜間・日曜：1 名待機

千厩病院 1 名 勤務：月～金 ※祝日除く

大東病院 月 1 回業務応援

南光病院 必要時

花泉診療センター 年 2 回業務応援

[認定資格]

- 3 学会合同呼吸療法認定士：高橋紀美香、菊地美代子、三浦雅映、齊藤郁
- 透析技術認定士：高橋紀美香、齊藤郁、水谷美緒
- 不整脈治療関連専門臨床工学技士：三浦雅映
- 認定血液浄化関連臨床工学技士：菊地美代子、水谷美緒、齊藤郁

[業務集計]

補助循環業務

業務の内容	症例数
IABP	11
ECMO	5

血液浄化業務

業務の内容	症例数
血液透析	1,478
病棟血液透析	46
胸・腹水ろ過 濃縮再静注法	41
持続血液濾過透析	2
血漿吸着・交換	9

不整脈関連業務

業務の内容	症例数
ペースメーカーチェック	435
ICD/CRTD チェック	56
PM 植込み・交換	45
PM 患者の MRI 撮像	10
植込みデバイス立会い	15
PM 退院時説明	31
遠隔導入件数	45
遠隔モニタリング件数	1,450

呼吸治療業務

業務の内容	症例数
挿管人工呼吸器 装着件数 (IPPV)	68
非挿管人工呼吸器 装着件数 (NPPV)	183
人工呼吸器点検数	1,245
RCT ラウンド	103

心臓カテーテル検査業務

業務の内容	症例数
心臓カテーテル検査	79
PCI	81
PTA	6

手術室業務

業務の内容	症例数
内視鏡手術立ち会い	745
カメラ保持・操作	9
耳鼻科ナビゲーション	21
マイクロ顕微鏡	16

ME 機器管理業務

業務の内容	件数
終始業点検	19,189
定期点検	868
修理	107
医療機器研修会	33